



しゅわ げんご ふきゅう たよう 手話言語の普及と多様なコミュニケーション手段 りよう そくしん じょうれい の利用の促進のための条例ができました。

い ま り し しゅわ げんご ふきゅうおよ しょう とくせい おう
 「伊万里市手話言語の普及及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例」
れいわ ねん がつ にち せこう
 が令和7年4月1日に施行されました。

い ま り し しょう かた かた あんしん
 伊万里市では、障がいのある方もない方も、安心
く ち いきしゃかい め ざ と く
 して暮らすことができる地域社会を目指す取り組み
げんご しゅわ ふきゅう しょう
 として、言語である手話を普及させるとともに、障
おう しゅわ ようやくひっき たよう
 がいに応じた手話や要約筆記をはじめとする多様な
しゅだん りよう かんきょう せいび
 コミュニケーション手段が利用しやすい環境の整備
すす と き じょうれい
 を進める取り決め（条例）ができました。

と き
 このチラシでは、この取り決めのポイントをまと
うらめん つづ
 めています。（裏面へ続く）

・^{じょうれい}条例の^{もくてき}2つの目的

✓^{しゅわ}手話は^{どくじ}独自の^{げんご}言語

^{しゅわ}手話は^{にほんご}日本語と同じ^{おな}独自の^{どくじ}言語です。
^{じょうれい}条例では、^{しゅわ}手話を「^{どくじ}独自の^{げんご}言語である」と認め、その^{みと}理解の^{りかい}促進と^{そくしん}普及^{ふきゅう}を進^{すす}めることとしています。

✓^{たよう}多様な^{しゅだん}コミュニケーション^{りようそくしん}手段の利用促進

^{ようやくひつき}要約筆記・^{てんじ}点字や^{おんやく}音訳など、^{しゅわ}手話以外の^{いがい}コミュニケーション^{しゅだん}手段の利用ができる^{りよう}環境の^{かんきょう}整備^{せいび}を行います。^{おこな}

・^{やくわり}それぞれの役割

✓^し市の^{せき}責務^む

^{しゅわ}手話の^{りかい}理解^{そくしん}促進と^{ふきゅう}普及、^{およ}及び^{しゅわ}手話などの^{しゅだん}コミュニケーション^{りよう}手段が^{かんきょう}利用^{せいび}できる^{すいしん}環境の^{せいび}整備を^{すす}進^{すす}めます。

✓^し市民の^{せき}責務^む

^{しゅわ}手話などの^{しゅだん}コミュニケーション^{たい}手段に対する^{りかい}理解^{ふか}を^し深め、^{すいしん}市が^{せさく}推進^{きょうりよく}する^{せさく}施策に^{きょうりよく}協力^{きょうりよく}します。

✓^{じぎょうしょ}事業所の^{せき}責務^む

^{しょう}障がいの^{かた}ある^す方が^{しょう}過^{かた}ぎ^すや^{しょう}職場^{かた}環境^すの^{しょう}整備^{かた}を^す推進^{かた}し、^{しょう}市が^{かた}行う^す施策^{かた}に^す協力^{かた}します。

・^{じょうれい}Q&A（^{しつもん}条例についての^{こた}質問と答え）

Q.^{じょうれい}条例が^{なに}できて^か何が^か変わるの？

- A. ^{しょう}障がいの^{かた}ある^{ばめん}方が、^とさまざまな^と場面^とで^とコミュニケーション^とを取りやすくなります。
また、^し市が^{しゅわ}手話などの^{しゅだん}コミュニケーション^{りよう}手段^{そくしん}の利用^{そくしん}を^{そくしん}促進^{そくしん}することで、^{いろいろ}いろいろな^{いろいろ}人^{いろいろ}が^{いろいろ}お互い^{いろいろ}の^{いろいろ}理解^{いろいろ}を^{いろいろ}深^{いろいろ}める^{いろいろ}ことができます。

Q. わたしたちには何が^{なに}できるの？

- A. ^{じょうれい}条例では、^{しみん}市民の^{やくわり}役割^{しゅわ}として「^{しゅわ}手話などの^{しゅだん}コミュニケーション^{たい}手段^{りかい}に対する^{りかい}理解^{りかい}を^{りかい}深^{りかい}める」ことと^{りかい}して^{りかい}います。^{りかい}コミュニケーション^{りかい}は^{りかい}お互い^{りかい}の^{りかい}理解^{りかい}への^{りかい}第一^{りかい}歩^{りかい}です。
^{おお}多くの^{かた}方が、^{しゅわ}手話^{りかい}などへの^{ふか}理解^{ふか}を^{ふか}深^{ふか}めて、^{ふか}コミュニケーション^{ふか}をと^{ふか}ることが^{ふか}お互い^{ふか}の^{ふか}理解^{ふか}へと^{ふか}つなが^{ふか}ります。
また、^い伊^{まり}万^し里^し市^しでは、^{まいとし}毎年^{まいとし}手話^{まいとし}を^{まいとし}学^{まいとし}ぶ^{まいとし}場^{まいとし}として「^{しゅわ}手話^{ほうし}奉^{しん}仕^{いん}員^{よう}養^{せい}成^{こう}講^ざ座^ざ」^{かいさい}を^{かいさい}開^{かいさい}催^{かいさい}して^{かいさい}い^{かいさい}ます。^{かいさい}詳^{かいさい}しく^{かいさい}は^{かいさい}下^{かいさい}記^{かいさい}を^{かいさい}ご^{かいさい}参^{かいさい}照^{かいさい}く^{かいさい}だ^{かいさい}さい。

^{まいとし}毎年、^{しゅわ}手話^{ほうし}奉^{しん}仕^{いん}員^{よう}養^{せい}成^{こう}講^ざ座^ざを^{じっし}実施^{じっし}して^{じっし}います

^{まいとし}毎年^{がつ}5^{しゅわ}月^{ほうし}に^{ほうし}手話^{ようせい}奉^{じゅ}仕^{こう}員^{せい}養^{しゅう}成^{しゅう}講^{しゅう}座^{しゅう}の^{しゅう}受^{しゅう}講^{しゅう}生^{しゅう}を^{しゅう}募^{しゅう}集^{しゅう}し^{しゅう}ます。
^{しょうさい}詳細^{こうほう}は^い広^い報^{まり}や^し伊^し万^し里^し市^しの^しホ^しー^しム^しペ^しー^しジ^しで^しお^し知^しら^しせ^しし^します^しので、^{きがる}お^{きがる}気^{きがる}軽^{きがる}に^{きがる}お^{きがる}申^{きがる}し^{きがる}込^{きがる}み^{きがる}く^{きがる}だ^{きがる}さい。
※^{れいわ}令和^{ねんど}7^{うけつけ}年^{しゅうりょう}度^{しゅうりょう}の^{しゅうりょう}受^{しゅうりょう}付^{しゅうりょう}は^{しゅうりょう}終^{しゅうりょう}了^{しゅうりょう}し^{しゅうりょう}ま^{しゅうりょう}し^{しゅうりょう}た^{しゅうりょう}。